

未来を生きる子どもたちに
今、できることを。

広がれ!

「食農教育」の輪

JA香川県は、地域活性化アクションプログラムの一環として、地域の多様な組織との連携強化を図り、「子どもに向けた食農強化の実施、香川の農畜産物の魅力伝承」に取り組んでいます。この方針に基づき、長年にわたって実施している活動に加え、さまざまな新しい挑戦も始まっています。今回は、そんな取り組みの一部をご紹介します。



当JAが展開する食農教育は、たとえば「農業体験」、「農産物直売所体験」、「料理教室」など多岐にわたります。

県内各地で、地域の保育所や教育機関、地域の農業生産者、JA女性部やJA青壮年部などと協力しながら、「支店協同活動」として取り組むこともあります。

最近では、さまざまな団体、企業などとも連携の幅を広げ、新しい企画が次々に形になってきました。地域社会全体で食農教育を盛り上げ、子どもたちにたくさんの機会を提供していくことは、地域活性化だけでなく農業振興にも大きく貢献できると考えています。その中で当JAは「農」と「食」のプロとして、これからも積極的に役割を果たしていきます。

食農教育とは？

JAグループでは、「食」がもつ多様な役割の大切さを伝える「食育」をさらにパワーアップして、「食」を支える根本である農業に関する知識・体験も含んだ「食農教育」の大切さを伝えています。

食農 + 食育 = 食農教育

食農教育では、一般的な食育活動に加えて、それを支える農業や地域、自然との関わりにも注目し、私たちの食を支える全国各地の様々な形の農業活動を知り、体験することで、これらが担うさまざまな価値を学ぶことができます。

JAグループが取り組む食農教育は、食べる、という人間にとって大事な行為そのものだけでなく、その背景にある動物や植物の「いのち」も感じていただき、子どもはもちろん大人にも、日本の豊かな自然や四季の尊さ、農業の果たす役割をお伝えし、「食」と「農」との目には見えない強い繋がりを学んでもらうことに大きな特徴があります。



讃岐おもちゃ美術館にJA直売所が“開店”！ 楽しく学んでお買い物してみよう

当JAは、昨年4月高松市内にオープンした「讃岐おもちゃ美術館」と協力し、同館内で月1回、子どもたちが楽しみながら食農について学べるワークショップを開催しています。

内容は、県特産の野菜や果物を使った工作と「農産物直売所体験」を隔月で実施しています。

「農産物直売所体験」では、讃岐おもちゃ美術館に

入館した子どもたちが、まず館内各所にある食農クイズに挑戦し、正解数に応じて「お買い物チケット」をゲット！それを使って、「JA直売所讃岐おもちゃ美術館店」に並んだ旬の農産物と引きかえることができます。

今後の日程や参加申し込み方法などは、同館のホームページをご覧ください。ご参加お待ちしております！

ハイ、あまくて
おいしいですよ！

おみかん1袋、
くださいな！



ワークショップの様子

「JA直売所 讃岐おもちゃ美術館店」今後の開催予定（2023年度）

9月24日(日)・11月26日(日)・1月28日(日)・3月24日(日)

※時間：10:00～16:00 品物がなくなり次第終了となります。



館内の6か所にあるクイズ
を見つけて、正解した数だけ
もらえる「おかいものチ
ケット」で買い物ができます



このイベントの時だけ臨時開店する直売所に、
旬の県産農産物が6～7種類並びます

子育てママとのコラボで 食農教育の大切さを明るく発信！



「ママ夢ラジオ」は、全国のコミュニティFM局で地元の母親たちがパーソナリティとなって語り合うラジオ製作プロジェクト。FM815(FM高松)でも、毎月第4

ママたちがSNSで
拡散してくれます！



木曜日の13:00～13:45に
オンエアしています。

当JAは、今年6月から同番組のパーソナリティーグループに旬の農産物とレシピの提供を始めました。6月はスイートコーンを提供。ママたちは、親子で楽しく作って食べた様子を自分たちのInstagramで発信してくれました。今後もオクラ、アスパラガス「さぬきのめざめ」、カキなどの提供を予定しています。

中学生が手作り広告で直売所を明るく SDGs、地産地消を学ぶきっかけに



讚さん広場 滝宮店では
ミニトマトのPOPが！

こちらは、令和3年度から続けている取り組みです。大手前高松中学校の1年生がSDGsについての学習の一環で農産物直売所（地産地消）を勉強。当JAの職員が講師となって授業を行います。さらに、讚さん広場 飯山店、同滝宮店、JA産直 空の街、JA産直市コープ太田店の4店舗で、実際に売り場に飾るPOP（商品広告）を作成してもらっています。

地域の旬の農産物や地産地消の大切さ、フードロス問題などについて生徒たちが深く学ぶ機会となっています。



出前授業の様子。香川県の農業やJA農産物直売所のしくみ、JAについてなど生徒たちは熱心に聞き入っていました

「支店協同活動」の得意分野は 地域密着型の食農教育

当JAの地域活性化プランの施策として、全支店・出張所で毎年数多くのイベントなどに取り組んでいる「支店協同活動」。その中でも、子どもたちへの食農教育関連の取り組みがたくさん行われています。

各支店のJA職員が女性部や青壮年部をはじめ、地元の団体や保育所・学校などとも連携して、地域の子供たちに食と農の大切さを伝えています。今後ともご協力、ご参加をよろしくお願いいたします！



お米ってバケツでも
育てられるんだ！

令和4年6月19日に丸亀東支店が開催した、飯野小学校5年生による「バケツ稲づくり」

林田支店は5月29日、林田幼稚園の子どもたちに「サツマイモの植え付け体験」を実施

